スイスコテージハウス

～ インフォメーション ～

1／Jun／2023 更新

短期から長期まで、ワンランク上の大人向けシェアハウス
シェアハウス個室／ワンルーム（STUDIO）

≪ロンドン・アップルハウス≫ Since 2004

Web: www.londonapplehouse.com
Email: info@londonapplehouse.com
Mobile: +44(0)7900-457-222
Running by ZEKKEY Ltd. (Registered in England No.07742569)

―目次―

ようこそスイスコテージハウスへ

※　スイスコテージハウスって？
※　交通、周辺は？
※　お部屋
※　レント(お家賃)、各種割引
※　その他サービス
※　予約、支払い手続き
※　キャンセル
※　最後に…

滞在における注意事項

1. チェックイン
2. チェックアウト
3. 掃除、整理整頓
4. 安全管理
5. ハウスの入る建物
6. ハウス内の設備
7. インターネット
8. 洗濯
9. バス・トイレ
10. 暖房
11. 節約
12. 消耗品、日用品.
13. 住所、郵便物
14. 門限、消灯
15. 喫煙
16. その他
17. ルール違反
18. 質問、連絡

各種資料 （ハウス備え付けファイル内）

- Wi-Fi ネットワーク名及びパスワード
- 設備・機器の使い方(洗濯機、除湿機など)
- 住所(Location Map)
- 交通案内(Tube Map、Bus Map など)
- 周辺案内(施設、Shop など)

ようこそステーションハウスへ

ステーションハウスって？

1. 形態・・・短期から長期まで(基本 3 ヶ月以上、状況により短期可)、お荷物一つでご滞在いただけるおうちです。メゾネットハウスの下階は全ての設備が専用となるスタジオタイプの Room1(寝室の外にダイニング室が有るので 1DK のような構成)で、上階は Room2、Room3 の 2 部屋でバス室やキッチンを共用するシェアフロアになっています。

2. 定員・・・各お部屋の定員は、HP の料金表がお部屋リストにもなっていますのでご参照ください。各部屋の定員数から計算したハウス全体の定員は 6 名ですが、予約管理においてハウス全体の人数が多くなりすぎないように管理しており、各部屋とも 1 名での利用がほとんどで、ハウス全体の平均滞在者数は 3 名程となっています(全設備が専用の Room1 にはあまり関係ないことですが)。

3. 設備・・・きれいなお家には、冷蔵庫、電子レンジ、炊飯器、調理器具、食器類、乾燥機付き洗濯機、アイロン、掃除機等の生活必需品を完備しています。下階の Room1 には Room2、Room3 とは別にそれらの設備が専用で備わっています。全室鍵付きで、お部屋内にはベッド、机＆椅子、収納スペース、テレビ、ドライヤー、洗濯物干し、を備えています。

4. 特徴・・・スイスコテージは中心地までも近く、ロンドン在住の日本人にもとても人気のある、安全で生活しやすい便利な街です。ハウスは駅前の立派なマンションの 6 階(日本で言う 7 階)にあってモダンな雰囲気。何と言ってもビルの入り口は駅の出口から 5 秒。エントランスの前が地下鉄駅の入り口です。マンションはエレベーター完備なのでお荷物が有っても楽チン。高層階からの窓からの眺めも良く、バルコニーテラスからは遠くにロンドン・アイも臨めます。

交通、周辺は？

1. 交通・・・ハウスの最寄り駅は、地下鉄ジュビリー線(Tube Map 灰色)のスイスコテージ駅(Zone2)で、徒歩 0 分、と申しますか 5 秒です。またメトロポリタン線(Tube Map あずき色)も通る次のフィンチリーロード駅までも徒歩 5 分。センター方面のバスも豊富、距離的にはバスだけでの生活も十分に可能です。また、ルートン空港/スタンステッド空港へのコーチストップが近くにあります。

2. 雰囲気・・・とにかく安全で便利。中心地に近い Zone2 エリアで客観的に良いエリアと言われる場所は限られていますが、スイスコテージはまさにその一つ。現地の日本人にもとても人気のあるエリアです。フィンチュリーロード沿いにはいろいろなお店が建ち並び、図書館や公営フィットネスクラブもあって、ロンドン生活をするには最適の場所に思います。

3. 買い物・・・目の前のフィンチュリーロードはハイストリート。様々なショップや各国レストラン、ファストフード(Mac、KFC)、郵便局、銀行があり、ハウスのあるビルの 1 階にもコンビニ(M&S)や KFC などが入っています。素敵なスーパーマーケット(Waitrose)までは徒歩 3 分、徒歩 7 分のショッピングモール「O2 センター」には、レストランや映画館、大型スーパー(Sainsbury's)も入っています。日系ショップも多く、日本食料品店、日本食レストランのほか、日本のケーキ屋さんもあります。

お部屋

ステーションハウスは 3 室の構成です。ただ、玄関が一つなので、同じハウスとしてこのインフォメーションもシェアしていますが、下階の Room1 はシャワー・トイレ、キッチンを含む全ての設備が専用です。日本で言うところの 1DK マンションの構成として、HP の料金表ではスタジオの一つとして扱っています。上階はシェアフロアとして、Room2 と Room3 の 2 部屋のみでバス、キッチンを共用する形です。

下記は、各部屋の説明と写真です。改装や備品交換等を随時行っておりますので、現在のお部屋の状況はお写真と違う可能性がありますが、雰囲気としてご参照ください。各お部屋の基本設備は、《ロンドン・アップルハウス》の他のハウスのお部屋と同じく、ベッド、寝具類、机(or テーブル)&椅子、デスクスタンド、収納スペース、TV、洗濯物干し、ドライヤーを備えています。

Room1 は特別なお部屋です。寝室の他に、専用キッチン・ダイニング室、専用トイレ・シャワー室、専用バルコニーがあります。洗濯機や冷蔵庫などの全ての設備も専用です。フラットの玄関が上階のシェアエリアと同じなので別物件としていませんが、間取りとしては日本で言うところの 1DK マンションです。

メゾネットフラットの下階はこのお部屋のみで、お隣の音も聞こえない建物の構造から、お子様連れご家族の長期滞在などに重宝頂いております。2 つのシングルベッドはそれぞれクウィーンサイズベッドに広げられますので 3, 4 名で使うことも可能です（実際に大人数でご案内出来るかはその時の状況によります）。高層階の専用バルコニーからの眺めは良く、遠くにロンドン・アイも見えます。

Room2 はメゾネットフラットの上階に有る、ダブルベッドを配した定員 2 名のお部屋です。窓が大きくて明るく、ラジエターも大きいので冬の暖房稼働時は暖かすぎるくらいです。ベッドは通常のダブルベッドより大きくて寝心地良好。それでいてお部屋は狭くはなく、収納スペースも多くあります。高層階の専用バルコニーからは遠くにロンドン・アイも臨めます。なお、上階はシェアエリアの位置づけですが、バス室とキッチンをシェアするのは Room3 と 2 部屋のみです。

Room3 は、ツインベッドルームで定員は 2 名です。ただ、通常時はお部屋を広く使えるように一つのベッドをもう一方のベッドの下に収めています。また、その 2 つのベッドは全く同じサイズなので並べればクウィーンベッドになります。つまり、お一人、ご友人、カップルさん、用途に合わせてお使いいただけます。そして、このお部屋の最大の特徴は大きな窓。高層階から見下ろす街と、夕暮れ時の夕陽はとても素敵です。明るくて、暖かい、静かなお部屋です。

レント(お家賃)、各種割引

レント(お家賃)、各種割引の規定は、ホームページの料金表をご覧ください。時にホームページの記載と異なる内容、例えば期間限定の割引や割増などを予約交渉時にご案内することもございますが、その場合は、あくまで合意した内容が優先されますことをご承知おきください。。

その他サービス

1. 送迎サービス・・・チェックイン日のお迎えや、チェックアウト日のお送りを安価にアレンジします。ご希望の場合はお迎えに関する情報(ポストコードを含む住所と希望時間、空港からなら便名、到着予定時刻、到着ターミナル)を添えてお問合せください。ホームページ内の料金表に、空港など主な地点と当ハウス間の料金、遅延待機料、人数割り増し、お荷物の量、チャイルドシートなどについての記載がありますのでご参照ください。

2. 荷物預かりサービス・・・ご滞在の前後においてお荷物をお預かりできます。料金は、「預かり単価/泊/トランクケース 1 個 ×お預け個数 ×お預け泊数 +ハンドリング料単価/トランクケース 1 個 」です。ただし滞在泊数に応じた割引をしますので、昨今の滞在期間が長い傾向においては、ほぼ「ハンドリング料」のみという無料サービスの意味合いの強いものになっています。料金等の詳細は、ホームページ TOP ＞ インフォメーション ＞ 滞在システム 3. その他の提供サービスの項をご参照ください。

3. 備品貸し出しサービス・・・ご要望により、Extra 専用ヒーター、変圧器、ベビーコットなどをお貸しできます。その他でも何かご希望が有る場合は検討しますのでお問い合わせください。貸出しの際は原則として一定の保証金をお預かりします(備品が無事に返却された際に返金します)。専用ヒーターの料金は電気代を加味します。変圧器は 100W 程度の変換が限界です。ベビーコット手配の対象は広めのお部屋に限ります。料金等の詳細は、ホームページ TOP ＞ インフォメーション ＞ 滞在システム 3. その他の提供サービスの項をご参照ください。

4. ハウスの設備・・・ハウスにはスーツケース一つでいらして頂いてそのまま生活できるように、調理設備を含めた一般的な設備や備品が一通りそろっており、使用は全て無料です。同様のシステムのサービスアパートメントでは有料であることも多い、洗濯機や Wi-Fi も無料です。

5. 消耗品・・・消耗品は基本的にご自身でご用意ください。便宜上、お皿洗い用洗剤、ラップ類、掃除用具、電球などの共用消耗品は弊社でも補充するようにしていますが、短期滞在者への配慮と掃除をしっかり行って頂きたい思いの上でのものゆえ、切らしている場合はもともと無いものとしてご対応ください。また、使用頻度に関わらずに無制限に補充するものでもありませんので適切に消費して下さい。

予約、支払い手続き

1. ご予約・・・お問い合わせ、お申し込みは基本的にメールでお願いします。お手続きもメールでのやりとりになります。基本的なお手続きの流れは、空き状況の照会 → ご案内 → お申込み → 予約内容提示 → 内容確認 → 予約金のお振込み → 予約完了　です。ただし契約成立時点は、予約内容の確認をいただいた後、弊社から予約受付のメールを送った時です。予約金入金時ではありませんのでご留意ください。直前のお申込みなどの場合は予約金無しで対応させて頂くこともあります。

   居住の法律的定義は 3 ヶ月以上として、住居の位置づけとなる弊社の各シェアハウスの契約も 3 ヶ月以上が基本になります。それ以下の期間もお受けしていますが、予約状況上可能な場合のみになります。日のある段階においては、たまたま良い状況の空きがない限りは一度保留させて頂いて、ご案内可能な状況が出次第連絡させて頂くことになります。特に貸切物件のような Room1 は年単位の契約の方も多く、その傾向が強いです。もtろん、実際、数泊のご滞在の方はそれなりにおられますし、全てはご依頼時の状況次第になりますのでお問い合わせ自体はご遠慮なくして頂いて結構です。

2. 支払い・・・契約時に 30%以上の予約金をお支払いいただきます（日の無い段階などは予約金無しで対応させていただくこともあります）。残金はチェックイン時にお支払いいただきます（期間が半年を超えるような場合は分割払いを許容させていただくこともありますので、その旨ご相談ください）。延長、滞在者の追加、送迎などの追加料金は、その都度、前払いでお願いします。支払いの方法には、お振込み、カード、現金が有りますが、具体的には予約手続きの際にメールで順次ご案内します。

※ 諸所の事情や状況により、ホームページやハウス備え付け説明書の記載と異なる内容、例えば期間限定割引や割増、各種制限などを、予約交渉時にご案内申し上げることがございます。その場合は、あくまで、その時々のメールで合意した内容が優先されますことをご承知おきください。

キャンセル

前提として、ご予約確定後のむやみな期間短縮／キャンセルはお控え下さい。

ハウスのキャンセル・ポリシーは、報告日から 10 日以内分は当該日料金の 100%、14 日以内分は 50%のチャージです。また、予約金を含めて支払い済みの代金は基本的にご返金致しかねます。従いまして、キャンセルチャージ額がお支払い済みの金額以下の場合は、追加チャージもご返金もなくキャンセル手続き終了となり、キャンセルチャージ額がお支払い済みの金額以上の場合は、不足分をお支払い頂いて手続き終了になります（長期契約が基本である以上、追加チャージが生じるケースはほぼありません）。

弊社は、あいにく仮予約はお受けしておりません。つまり上記のキャンセル・ポリシーは、期間短縮やキャンセルの無い前提でご契約いただいた上での、想定外の致し方ないご事情へ対してのものとお考え下さい。弊社は、契約成立後は他の依頼を排他しながらお部屋を確保するという契約の履行に着手します。皆

さまにも、契約成立後は契約当事者の一方として誠意をもって契約を履行する義務が有ります。ご契約・お支払いの行為は、ご自身の責任あるご判断に基づいてお願いします。

お部屋探し期間中のようにもともと日程が不確定な状況の場合は予めご相談下さい。基本的にはまず確実な期間でご予約をいただいて、追加が必要になったら延長していただく形をお願いしています。その時点でお部屋が空いていない可能性が生じますが、そのあたりのリスク配分はご自身でご判断をお願いします。弊社としては、契約成立までは確保の保証や予約が入りそうになった際の連絡の約束も出来ないもののマークを入れて注視はしておきます。なお、飛行機の手配の都合による数日程度のズレは、日の迫った段階でなく、お部屋が空いてる限りはキャンセル扱いとせずにスライド対応させて頂くこともあります。

少人数制の弊害として、キャンセル・ポリシーがやや厳しくなってしまうことをお許し下さい。ただ私どもは余計なチャージをすることを全く望んではいません。他の申し込みを断りながらお部屋を確保申し上げたうえで、一方的なキャンセルによって生じる損失を避けなければならないだけでございます。そうした損失を避けることが、占有率を高め、少人数かつ安価という難しい要素を並立させるというシステムを可能にしていますので、ご理解、ご協力をお願いします。

最後に・・・

≪ロンドン・アップルハウス≫は、皆様の協力を賜ることで常駐管理人等のサービス経費を省いて、不動産屋との契約のような数年単ではない滞在期間でも、安全なエリアの、きれいな物件に、少人数で快適に、そして安価に滞在できる環境を、ロンドンで初めて実現した日系ゲストハウスです。滞在形式はまさにフラットシェアの感じで、日本人のマナーを前提に、預かり金の意味でのデポジットを頂かず、細かい契約書等の取り交わしもせずに、簡単な手続きでいきなりロンドンの住人になれます。

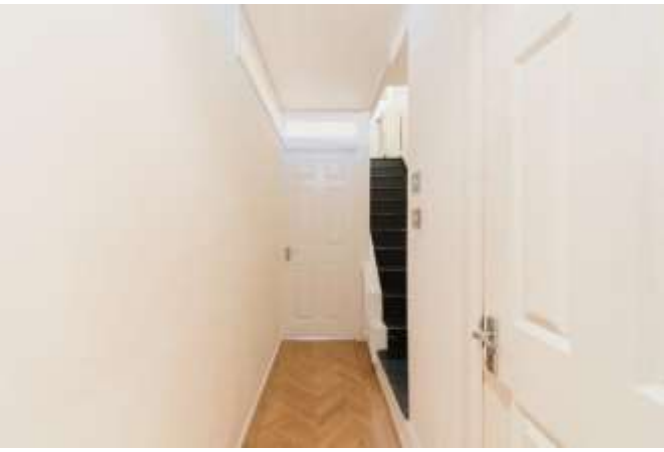
ただ一方で、そうした中で安価や良いハウス環境を維持するには、滞在者の高いマナーと掃除等の具体的な協力が不可欠なシステムと言えます。弊社のハウスはホテルでは有りません。『お客様として泊る』という感じではなく、『住人として住む』という感覚でご滞在いただく必要がございますので、そのあたりを良くご理解の上、安価だからというだけでなく、弊社の滞在システムが今回のご自身のロンドン滞在に合っていることや能動的な協力を伴う滞在がやぶさかでないことが前提の上でご利用頂けたらと思います。

例えば、イギリスでは電化製品や設備が頻繁に故障しますが、日本人がイメージするような迅速な対応は望めません。まずは皆様の方で丁寧にお使いいただくことをお心掛け頂きまして、万が一の際は、私どもにおいて迅速な対応をしますので、「使えなくて困るんですけど」という感覚ではなく、「自分で住んでいたら自分でやらなければならないのに助かるな。自分が手配したらもっと時間がかかるのだろうな」という感じで、ご甲斐性を持ってご協力頂けますと幸いです。

お願いごとが続きまして恐縮ですが、各ハウスに管理人が居ない状況においては、ひとたび滞在が始まってしまえば皆様任せの状態となります。ルールを守ってご滞在いただく限りは基本的に干渉致しませんので、ご自身のお家と思ってきれいに保ち、マナーと責任感を持って有意義な現地生活をされてください。滞在者、スタッフ、全ての方がハッピーに過ごせるよう、それが≪ロンドン・アップルハウス≫の根源的な運営ポリシーです。

滞在における注意事項

1. チェックイン



- ハウスには常駐スタッフはおりません。予め打ち合わせた時間に受け入れの対応をいたします。予約交渉時にご希望を伺いますので、規定チェックイン時間の 15 時～19 時（最終受付）内でご希望のお時間をお知らせただき、弊社スタッフの予定との兼ね合いからお時間を相談させていただきます。

- 規定チェックイン時間の前後 3 時間（12 時～15 時、19 時～22 時）は、時間外対応料をもってチェックインのアレンジが可能です。ただし、12 時～15 時は弊社の対応用に確保している時間でもあります。手続きを終えて鍵もお渡ししますので、一度外出頂いて 15 時以降のお時間にお戻り頂く感じになります。いわば、大きなお荷物を早めに置けるようにするための対応です。

- それ以外のお時間（正午以前、22 時以降）のチェックインは基本的には対応いたしかねます。どうしてものご事情がお有りの場合は一応ご相談ください。基本的には対応不可ではありますが、エキストラ対応料金や送迎サービスの利用を前提に手配が可能かのアレンジを試みます。

- ハウスにご到着後、滞在に関しての説明、施設内のご案内、お支払い、鍵の引渡しを行います。リピーター様かどうか、どこまで弊社の滞在システムをご理解いただいてるかなどにもよりますが、最低でも 30 分少々のお時間がかかってしまいますので余裕を見ておいてください。

2. チェックアウト

- チェックアウトは 12 時までです。弊社スタッフの立ち合いはございませんので 12 時以前のご自由なお時間に所定の処置を終えた上で、ご自身にてご退室ください。

- 規定チェックアウト時間後の 3 時間（12 時～15 時）に限っては時間外対応料をもってお荷物の残置が可能です。あくまで 12 時迄に全ての処置を終えてご退室いただき、鍵を所持したまま荷物を残し、15 時までに引き上げと鍵の返却をして頂くことになります。つまり、大きなお荷物をなるべく遅くまで置いておけるようにするための対応です。

- 鍵を忘れずにお部屋に残してください（通常はお部屋の扉の内側のフック）。ここのハウスのエントランスはオートロックゆえ出た後に扉をしっかり閉めて頂ければ OK です。日頃は常時 2 重ロックを掛

けた状態にして頂いていますので、少しの時間だけオートロックだけの状態になりますが、残る他のフラットメイトにおいてなるべく早く２重ロック状態へ戻して下さい。なお、鍵を万が一持ち帰ってしまった場合は至急ご連絡ください。

- 後片付けをしてご退出ください。お部屋を中心に、お使いいただいたスペースはそのまま次の方が使われます。次の方が気持よく滞在出来るように整えてご退出下さい。具体的には、使った場所の掃除（掃除機、バケツ&雑巾を使った拭き掃除)、ベッドメイキング（使っていた寝具カバー類を洗濯して、洗い換えでベットメイキング)、ご自身の所有物（キッチン棚、冷蔵庫、バスルームの棚等）の整理、処分をお願いします。詳しくはチェックイン時にもご説明申し上げます。

- 空気の入れ替えのため、退室時はお部屋のドアは少し開けたままにしてください。特に寝具カバー類が乾かずにお部屋内に干しっぱなしになるような場合、湿気が溜まってカビが生えてしまいますので気を付けてください。もちろん、防犯上、外に通じる窓はしっかり閉めてご退室ください。

- 忘れ物をしないようにご注意ください。ハウスには常駐管理人はおりませんし、基本的に確保、保管、廻送はできません。どうしてもの場合は、見つけることが出来れば対応をさせていただきますが、長期保管は出来ず、廻送に対しては送料に加えて対応料をいただくことになります。

3. 掃除、整理整頓

ハウスにクリーナーはおらず、掃除、整理整頓は皆さまに行っていただきます。基本として、使ったものは責任を持って元に戻し、使った場所は責任を持ってきれいにしてください。また、共有の場所（Room1の方もエントランスとその前の廊下は共有場所になります）は日ごろからきれいに保つようにしてください。それぞれの方が責任を有する場所は自室と共有部分の全て、責任が無い場所は他の方のお部屋のみです。ご自分のお部屋のみと勘違いしないようにして下さい。

共有部分はそれに加えて定期的な深い掃除が必要です。我々において分担表を作ることはせず、それぞれの方の頻度を週に一回、最低一時間と定め、具体的な場所や時間配分はそれぞれの方にお任せしています。なお、時々スタッフもクリーニングヘルプをしますが、自分達のお家の清掃は自分たちで行うのが基本です。その際は「助かります、すみません」という感覚で、一緒に行うようにして下さい。

- 個人のお部屋の掃除はある程度は自由ですが、害虫や害獣の問題がありますので不衛生にならないよう、湿気によるカビの増殖などでハウスにダメージを与えないよう、きれいに保ってください。なお、壁への画びょう、釘打ちはもとより、オイル跡が残ってしまうのでブルータグの使用も禁止です。ダメージの原因が明確な場合は修理費を負担していただきます。

- 共有部分の、自身が使用した場所の掃除や、使用したものの後片付けは、その都度行ってください。お鍋や食器の洗い残し、トイレの汚れの残り、バスタブや洗面シンクの化粧汚れや髪の毛の残り、玄関付近の泥汚れなど、基本的なレベルで他の方に不快を与えないようにしてください。

- 共有部分については、新しく来られた方が「ホントに滞在者できれいに保っているのだな」と思えるレベルを保持してください。日頃からきれいにお使い頂いたうえで更に、各人が週に１回（一週間未満の

滞在の方は滞在中に１回）１時間、深い掃除を行ってください。もちろん１時間しかない中で家全体を深く行うことはできません。この掃除は全体をまんべんなく行うのではなく、ご自身が最近最も気になった（汚いと思った）特定の場所を深く行って頂く感じです。

- 共有のスペースには個人的なものを置かないで下さい。所在不明で置いてあるものは他の方に使われても仕方ないことになりますし、処分させていただくことがあります。冷蔵庫は、全体の人数からご自身分のスペースを考えてご利用ください。。

- 掃除機はバックレス式を置いています。バックレス式は溜まったゴミを捨てるのが簡単という利点の半面、フィルターが詰まりやすいという弱点もあります。ゴミを捨てても吸いが悪いと感じた時はフィルターの掃除をお願いします。説明書によればフィルターは水洗いもできますが、よほどしっかり洗わないと目が詰まるだけで、半乾きで取り付けたら故障の原因になります。ゆえに水洗いはせず、まず表面の大きなゴミを取り、外で強く叩きつけるなりしてホコリを取る方法が良いと思います。

- 冷蔵庫の中は清潔に保ってください。庫内の棚の液体のこぼれ跡や食材の残りカスなどをきれいにしてください。退室時には必ず全てを処分してください。

  シェア階の冷蔵庫においては、自分のものは責任を持って管理し、各自に冷蔵庫全体を管理する責任があるという意識のもと、退室者の忘れ物に注意を払い、声を掛け合って整理、整頓を行ってください。スタッフが訪れても、外出中の方もいる中で、忘れ物を見分けて処分するのは困難です。

  庫内に水が溜まる時は、庫内の奥面にある水汗抜き穴が詰まっていることがほとんどです。お箸などの細長いもので掃除をしてください。

- ゴミの処理は皆さんで協力して行ってください。Room1 の方はご自身のゴミの処置になりますが、上階の方はお部屋のゴミをキッチンのゴミ箱にまとめ、一杯になっているのを気づいた方が処置してください。ゴミ袋の口を縛り、フラットの玄関を出て廊下を右方向へ進んだ、フラット 10 の前の非常出口外、非常階段の中央のシューターから投げ落として下さい。シューターの口はそれほど大きくありませんので気をつけて下さい。各部屋のゴミ箱、キッチンのゴミ箱は定期的に掃除してください。

  また、エレベーターで B1 へ行くとマンションの後ろ側の駐車場に出られます。そこには一般ごみと、リサイクル用の大きなコンテナが置いてありますので、シューターに入りきらなかった場合やリサイクルゴミはこのコンテナに運んでください。リサイクル対象品は、ビン類、カン、ペットボトルを含むプラスティック類、紙類です。スペースに限りがありますのでハウス内に一般ごみ、リサイクルそれぞれのゴミ箱は置いていませんのでご自身で管理をしてください。

‘きれいさ’に対する感覚には個人差があると思いますが、ご自身の感覚ではなく、例えば、日本のウィークリーマンションなどにおいて、一般的に‘きれい’とされるレベルを保つようにお願いします。時に他の方の対応レベルに不快を感じることもあると思いますが、それでも日本人のマナーの高さと責任感は世界最高レベルであることに間違いはありません。同じご自身でも経験に伴って掃除のレベルは上がってきたはずですから、心を広く持って、経験値の高い方がカバーして下さいますようお願い申し上げます。

4. 安全管理

ハウスに管理人は居りません。普通にフラットシェアをするのと同じく、安全管理は各自においてお願いします。ハウスのあるエリアはロンドンでも最も安全と言われておりますし、ハウスは駅直結と言えるほど至近ですが、知らない土地ですから気を抜かないようにしてください。良いエリアゆえに空き巣に狙われやすいとも言えますので、外出や就寝の際は戸締りをしっかり行ってください。

- エントランスのドアはオートロックですが更に 2 重ロック状態を保ってください（二重ロックの仕方はチェックイン時にお伝えします)。高層階ゆえ各お部屋の窓やバルコニーからの進入の可能性は少ないながら、外出時は必ず戸締りをしてください。

- 安全管理上、滞在者以外の立ち入りは固くお断り申し上げます。ご自身にとっては信頼できるお相手でも他の滞在者にとっては知らない方になります。反対に他の滞在者がいろいろな人を招き入れる状況は望まれないことと思います。また、そうした際に何かの紛失や破損が有った場合は不許可侵入者に嫌疑が掛かることになります。滞在者はレントを払って施設を利用していますので、代金を払っていない方が設備を使う権利は無いという理由もあります

  複数定員のお部屋にご滞在の方は、その定員数までは、多少の割増料金で滞在者を追加することが可能です。宿泊まではしないまでもこの方法を使うことでお食事等においても正規に入室が可能になりますので、必要な際はお申込み下さい。(パンデミック以降は特に、その時々のハウス全体のシェア人数に気を配っています。その時々の状況によっては、例え定員内であってもお受けできない可能性もありますのでご了承ください。)。

- ご近所さんとはあいさつ程度以外はあまりかかわらず、ご迷惑を掛けないようにだけ心がけて暮らしてください。皆さまが盗みなどの何か特別なことをするとは思っていませんが、小さなミス（例えば、家を間違えてしまったり、ゴミの出し方を間違えてしまったり）も、それぞれの滞在期間が短い（例え数か月単位の滞在でも近隣の住人に比べれば短いものになります）上では繰り返し行われてしまって大きな問題に発展してしまったことがあります。必要以上に話し込んで仲良くなることも避けてください。事情を知らない皆様の何気の無い会話や行動が後々問題になることもあります。

  人々は静かに暮らすことを望みます。そうした点において、そもそも弊社のようなハウスはご近所にあまり気持ち良く思われない可能性が有ります。皆様のご実家の隣の家が不特定多数の方が出入りする、誰が泊まっているか分からないお家になってしまったことを想像すればご理解いただけると思います。弊社のハウスはその時点時点の滞在者を少人数に抑えていますが、一人一人の滞在期間が短いうえでは、近所から見ると常に新しい顔を見る感覚となり、あそこは何人住んでいるのかという誤解を招きやすいです。そして、皆さまが望む良いエリアほど、そうしたご近所の厳しい目が強いのです。

- 火の始末には十分に気を付けてください。ハウスの入るビルにはガスは通っていませんので、Room1 のレンジ、上階のキッチンのレンジともに電気クッカーです。当然ながら調理を行うだけの火力はあり、むしろ火が無いことで分かりかり辛いことにもなりますので、やけどや火事などに気を付けて下さい。キッチンには消火器を備えています。有事に的確にご使用いただくべく確認しておいてください。また、Room1、Room3 のテラスではタバコを吸えますが、火の始末には気を付けてください。

- 貴重品の管理は各自でお願いします。全室鍵付きですし、比較的滞在の長い少数の日本人が滞在しているハウス内は安全と言えますが、あくまで相対的にということです。貴重品 Box のようなものも有りませんので、スーツケースに入れて施錠するなど各自においてご留意をお願いします。常駐の管理人もおりませんし、私どもが不確定な要素の多い盗難疑惑等への対応や責任を負うことは出来ません。

- 鍵の管理には十分ご注意ください。特にビルのエントランス用のホブキーはビルの管理会社によって番号管理されています。万が一紛失した場合は、マンション全体の安全管理上の問題になりますので至急お知らせください。故意では無いでしょうからそのこと自体は咎めませんが、事態収拾の為に 2 つの賠償方法から一つをご選択頂きます。選択肢の詳細についてはその折にご説明します。必要以上の請求は致しませんし、そもそも私どもは賠償請求など望んでいませんが、エントランスのホブキーに至っては管理会社から高額な請求が来ます。皆様にとりましても、不必要な出費や対応、責任が生じてしまうことは快いことではございませんので、なにとぞお気を付けください。なお、ご自身において無断で鍵のコピーを作ることは違法です。

5. ハウスの入る建物

ハウスの入っているビルは、一階がショップ（マンションの入り口は別なのでビル内から直接のアクセスは出来ません）、上階が住宅になっている、10 階建ての大きなマンションです。ビルのエントランスはスイスコテージ駅の 4 番出口に面しています。かつては中層階がオフィスだったこともあり、イギリスの住宅ではあまり見かけない頑丈な造りで、お隣さんの生活音も聞こえません。

最近コモンエリアの改装が行われました。一段とモダンな雰囲気になったエントランスにはポーター室があり、ビル管理会社の方がほぼ常駐しています。全館暖房のビルは、エントランスキーシステム付きのセキュリティーの高い建物です。

- ビルのコモンエリアには監視カメラがあります。大きな声を出したり、長時間とどまって何かをしたり、他のフロアを歩き回ったりといった、迷惑や不審に思われる行動をしないようにしてください。

- スーツケースなどの荷物で、エントランスドア、エレベーター、廊下、廊下の壁、廊下の扉などを、傷付けないようにご注意ください。

- ビルのエントランスには管理人室が有りますが、ホテルの受付とは全く意味が違います。荷物を預けたり、道を尋ねたり、そもそも話し込んだりすることのないようにお願いします。たとえマンションに関することであっても、フラットの所有者でない短期滞在の皆様が直接の質問や交渉をすることは基本的にご遠慮いただきたく、何か必要を感じた際はまず私どもご連絡ください。

- 3. 掃除、整理整頓の項でも触れましたが、ビルの各フロアにはごみを投げ入れられるシューターが有ります。また、エレベーターで B1 へ降り、外に出たところには大きなゴミ BOX（一般ごみ、リサイクルゴミ）が並んでいます。

6. ハウス内の設備

ハウスには調理設備、食器、洗濯機、掃除用具等の設備は一通り揃っており、お荷物一つでいらしていただいて、普通の基本的な生活ができる環境が整っております。なお、下階の Room1 は、構成としては 1DK の完結したマンション空間で、そうした設備は全て専用です。

- 家電製品は高価な物も多く、正しい使い方で、丁寧に使ってください。そこまで使い方の難解なものは置いていません。パット見で使い方が分からない時に ‘なんとかなるだろう’ 的な使い方をせず、‘あれっ’ と思った時に無理やり推し進めようとせず、構造や使い方を理解してから使うようにしてください。破損の原因が明確な場合は修理費を負担していただきます。(設備の使い方はチェックイン時に一通りご説明申し上げますし、洗濯機等についてはこの巻末に日本語の説明があります)

- 調理器具は正しく丁寧にお使いください。ケトルや炊飯器の空焚きに注意してください。テフロン製品は正しくお使いください。熱いままの急激な冷却、固いスポンジで洗うなどしないでください。電子レンジで光る物を調理してはいけないのは常識です。青魚の背中でも反応しますので気を付けてください。、電子レンジもオーブンレンジも使用後は中を掃除してください。飛び散りのまま使うと不衛生ですし、汚れが落ちなくなります。

少々厳しい言い方で恐縮ですが、ここは初めての一人暮らしで調理にチャレンジする場所ではありません。日頃から調理に慣れている方のみご利用ください。不慣れによる不衛生、機器の破損や消耗を避けたく、特に火の不始末による火事など起こっては取り返しがつきません。

- 建物、家具、寝具、家電製品、食器や小物などを誤って破損してしまった時はきちんと申し出て下さい。状況に応じて多少のご負担をいただくこともあるかもしれませんが、必要以上の請求は致しません。何より、善意の第三者（新しい滞在者や他の滞在者）が困ってしまうことのないよう、責任としてご報告をお願いします。特に鍵の紛失は状況によっては大きな責任を伴うこととなります。

- イギリスではよく設備が壊れますし、なかなかすぐに直りません。完璧な日本と違って、エンジニアを呼ぶにしても新品を購入するにしても、しっかり段取りをしても時に有り得ないほどの時間がかかりします。お客様という立場で考えればイライラする気持ちも分かりますが、住んでいない我々が壊したわけは無く、もしかしたら皆様の使い方のミスによって壊れた可能性もあります。

Out of order の理由はともあれ、我々はとにかく復旧の対応をします。慣れていますし、保険を掛けているものもありますので一般の方々の対応よりはるかに早い復活を見込めます。皆さまは住人です。ご自身で普通に不動産屋さんから借りていたなら全て自分で進めなければならないという認識のもと、協力して早く解決しようという姿勢でご協力ください。

具体的には、状況の報告、不便な状況の許容、エンジニアが来る際の対応です。特にエンジニアの手配においては 1 日アポなどが多く、弊社スタッフが早朝から 1 日ハウスで待ち続けることは出来ません。住人間で時間分担するなどしてドアを開けて頂く必要が有りますので、各自が当事者意識を持ってご対応ください。なお、弊社もその日は電話待機をしてバックアップします。

なお、何事も無いことを前提とした料金設定の概念上、設備トラブルといったイギリスの生活における普遍的な事情に伴うリファンドは致しかねますのでご了承ください。

7. インターネット

無料 Wi-fi 環境を整えておりますので、ハウス内のどこからでもご自身のパソコンやスマートフォンで、インターネットへアクセスすることが可能です。また、ルーター自体は上階にありますが、下階の Room1 には専用 Hot-Spot を儲けていますので直接十分なシグナルを受け取れます。

- 上階のルーター、Room1 の Hot Spot それぞれのネットワーク名と接続パスワードはハウス備え付けのインフォメーション内に記載されています。なお、接続の設定はご自身で行って下さい。

- 複数のデバイスが接続出来ないような時は、まず上階、キッチンのワゴンにあるルーターをリセットしてください。電源コードを一旦抜いて 5 秒ほど待ってから差し直します。自動的に再起動が始まって数分でほぼ復活します。最近は、サーバーダウンはほぼなくなりましたが、それでも接続できない場合はサーバーに確認をしますのでご連絡ください。なお、特定のデバイスのみが接続できない場合はご自身でご解決下さい。

- 接続に伴う故障等の責任は一切負い兼ねますので予めご了承のうえご利用ください。また、インターネット環境の提供は無料サービスですので、万が一の不通の場合は無いものとしてご了承ください。なるべく早い復旧の努力は致します。

- 映像のダウンロードやビデオつき e-mail の多送信、頻繁なゲーム利用など、大きな通信量を伴うような使い方をしないようにしてください。こちらのサーバーは、無制限の契約でも使用容量が多すぎると制限を掛けてきたりしますので、他の皆様の利用の妨げになります。

- ハウスに常設電話はありませんので滞在中の通信手段はご自身で確保してください。弊社の代表番号を（仮に一時的にも）連絡先として登録しないで下さい。旅行会社、航空会社、運送会社などから連絡を受けたことが有りますが何も答えられませんし、業務の支障になります。

8. 洗濯

ハウスには無料でお使いいただける洗濯機が 2 台備わっています。Room1 には専用の乾燥機付き洗濯機、上階には Room2、Room3 用の洗濯機と乾燥機が有ります。洗濯機の寿命延伸のため、上階のものは他の方との共用ですし、各自の使用頻度は週 1, 2 回程度でお願いします。また、洗濯用洗剤は個人で用意してください。

- 洗濯機の使い方はハウス備え付けの説明書を参照してください。代表的なプログラムに絞って簡潔に記していますが、長い滞在の方など、慣れた後はご自由に他のプログラムをお使い頂いて構いません。また、洗濯機使用に伴う注意事項も記してありますのでお使いの前にご一読ください。

- 使用時間帯についての細かな規定はありませんが、上階の 2 部屋用の洗濯機については、早朝出発などの致し方ない場合を除いて (そういう場合でも事前に一声をおかけ頂けたらよろしいかと思います)、良識的な時間帯にお願いします。

- 洗濯機の故障がとても多くなっています。ヘアピンなどがモーターに絡まって排水不良をおこすことが頻繁にありますので、洗濯物を入れる前にポケット等を確認してください。また、プログラムが終了しても安全ロックが解除されるまで扉は開きません。無理に開けようとすると安全ロックが壊れて二度とスタートしなくなりますのでロックランプが消えるまでお待ちください。

- 乾燥機は膨大な電気を使いますし洗濯物も痛みます。一方でお部屋の湿気防止や退出時のベッドメイキング対応時間の短縮といった面では有効です。その辺りのバランスを考えて適切な時間設定をしてお使いください。終わったときに「まだ結構湿っているな」と感じる程度が設定の目安です。具体的な時間は洗濯物の量や素材によっても変わりますが、通常 30 分、量が多い時で 1 時間程度でしょうか。

- Room1 の洗濯機は乾燥機が一体式です。Express や Wool などのプログラムは洗濯時間が短いので重宝しますが、脱水スピン回転の弱いプログラムですので脱水が甘い状態のまま乾燥に移行させることは効率的ではありません。それらの短時間プログラムを使う際は、乾燥へ自動移行しないように乾燥ダイヤルの設定を 0 分にし、まず一度洗濯プログラムを終了させ、続いて高い回転のスピン（脱水）を掛け、その後乾燥を行ってください。上階は、洗濯機と乾燥機は別体です。洗濯機でしっかり脱水した後に、乾燥機に移してお使いください。

- 洗い終わったものは洗濯機から直ちに取り出してください。乾燥の効率上、暖かいうちに取り出して干すのが効率的であり、しいてはお部屋の湿気を減らし、カビ発生の防止につながります。また、半乾きの状態で叩くなどすればある程度しわを伸ばすことが出来ますし、縮みの防止も出来ます。特に上階の共有洗濯機については、次の方の使用の妨げにならないようご配慮ください。

- 洗濯物は、各部屋常備の洗濯物干しラックを使って各自のお部屋で干してください。洗濯物干しラックはこれまで最も壊れている備品の一つですので、ファンクションを理解して取り扱ってください。なお、カーテンポール等の室内の設備に洗濯ロープ等を掛けないでください。濡れた洗濯物はそれなりに重いので落ちてしまいます。また、濡れたものを木製の家具や机の上に放置しないでください。ふやけて凸凹になってしまうと家具の買い替えが必要になります。

- Room1 は専用のバルコニーで干すことも可能です。イギリスではバルコニーに洗濯物を干さない習慣ですが、干しスタンドの高さは柵以下で外からはあまり見えないのでここでは OK としています。ロープなどを使って大々的に干すことはできませんのでご注意ください。また、こちらの天気はとても変わりやすいです。ひさしはあるものの、雨が吹き込みますのでご注意ください。

- アイロンをかける際は、床やアイロン台の焦がし、火災に十分にご注意ください。一度アイロンを暖めたら使用が終わって冷えるまでその場を離れないで下さい。アイロンが倒れて絨毯を焦がすことの無いよう十分に気を付けて下さい。片付ける際は完全に冷えたことを確認してからしまってください。

  フロアや絨毯に焦げ跡をつけてしまった場合はご連絡下さい。故意では無いでしょうから咎めはしませんが、基本的に絨毯張り替えのご負担をお願いすることになります。また、次の方にご不便を掛け無いよう、退去時では無く、その時点で連絡をください。ご滞在中に対応出来れば実費のみですが、後日の対応になって滞在者を入れない期間が生じる場合は、その損失や手数料も頂くことになります。

- 結露やカビを防止するために、室内干ししている最中は必ずその部屋内で除湿機を作動させてください。除湿器は上階の廊下に置いてあります。除湿機は掛けっ放しが可能です。乾いたら直ぐにたたんで、除湿機をもとの場所に戻してください。詳しい使い方は洗濯機備え付けの説明書、もしくはこのインフォメーションの巻末資料を参照ください。

- 退室時、時間切れで止むを得ず寝具カバーを干したままにする場合はは、室内に除湿機を作動させ、部屋のドアは開けたままにし、他の方に取り込みのお願いをしてご退室ください。

9. バス・トイレ

上階にある、バス・トイレ室は Room2、Room3 の共用です。使用上のルールを守り、マナーを持ってご利用ください。一方、下階にあるシャワー・トイレ室は Room1 専用です。玄関からの通路に位置していますが、Room2、Room3 の方は使わないでください。

- 上階のシェアバス室（右の写真）について、少人数定員にて極端な待ち時間は無いと思いますが、個々の方が占有時間の短縮に努め、（特に皆が使用したい時間帯などは）声を掛け合ってお使い下さい。

- バスルームは 24 時間使えますが近くにお部屋もあります。そこまで大きな音では無いとは思いますが良識な時間帯でお願いします。特にドライヤーの使用時間には気を使ってください。

- 足ふきマットは、替えも含めて提供しています。もちろん定期的な洗濯は皆様でお願いします。気づいた方が定期的に洗濯、交換をしてください。いつもどなたかに偏ってしまうような場合は、話し合って順番を決めるなどなされてください。

- トイレットペーパーは個人でご用意ください。また、自身のトイレットペーパーはバスルームに置いたままにせずに、お部屋からその都度持ち込むようにお願いします。バスルームに置かれているものは、退出者があえて残されたものとして、共用品としてお使いください。

- この家の給湯は、ビル全体の給湯システムによりますので、温度にしても、量にしても、心配は要りません。故障も一般家庭のボイラーのような頻度では起こりませんので、基本的には安定供給を期待できる状況です。ただ反対に、ひとたびトラブルが起こりますと、ビル全体の大掛かりな対応になる可能性が高いです。我々の対応の範ちゅうではないこととして、その際はご協力ください。

- 上階のバス室はバスタブを有しますが、様々な理由から基本的に浴槽にお湯を溜めることはお避け頂きたく思います。ただ、全館給湯システムにつきお湯切れの心配は要りません。他の方がいらっしゃらない時や、皆で打ち合わせて順番に入るなど自分都合だけでない前提で、時々でしたら目をつぶらせて頂きます。なお、溢れさせて階下のお家の天井にシミを作って賠償といったことの無いよう、溜める場合も浅めで、シャワーの際も含めてフロアに飛び散らないようにご留意をお願いします。

- 使用中な事が分るよう、また湿気排除の目的から、共用バス室のドアは普段は開けておくようにお願いします。また、私用後は特に、バス室前に置いてある除湿器を有効に稼働させてカビが生えないようにご注意ください。階下にある Room1 専用のシャワー・トイレ室は Room1 専用です。滞在者において責任をもってお使いください。

- バスルーム・トイレ室は最もきれいであって欲しい場所である一方で、最も手入れを必要とする場所です。皆さんで協力し合ってきれいに保ってください。基本的なことですが、トイレ使用後は、便器に汚物がついていないか確認してください。他の方の、そうした汚れの処置をするのは決して気持ちの良いことではありません。

- イギリスの水は石灰を含みますので直ぐにスケールが溜まります。バスタブの淵、シャワーグラス、手洗いシンクの鏡などは常時より水をふき取ってください。日本人の感覚には行き過ぎに思うかもしれませんがイギリスでは常識的な範囲です。また、こちらの洗剤にはライムスケール落としが混ざっています。バスタブ内、壁タイル、シンク＆鏡、蛇口、シャワーグラス、スポンジの硬い方を使ってちょくちょく磨いてください。数か月しないだけで固まって金属でガリガリ削ることになります。

- イギリスは一般的に排水管が詰り易いです。水も石灰分を含みますし建物が古いので、詰まると時に大掛かりな対応が必要になります。日頃より、キッチンシンクを含む全ての排水口に不用物を流さないように気を付けてください。シャワーの際は髪の毛を流さずにゴミ箱に処理し、トイレの際は、ポケットティッシュは絶対に使わず、トイレットペーパーであっても必要最小限でお願いします。日ごろから大便の後はフラッシュを 2 回行うなども良いと思います。

  もしトイレの流れが悪いと思った時は、バケツ一杯の水を数回、便器に一気に流し込んでください。

完全に詰まり切ってしまう前であれば何度か行うとスッと抜けることが多いです。全く流れない場合は流し込み過ぎると溢れますのでご注意ください。なお、シンク、シャワー室、トイレを含めて、詰りが確かな場合は、ひどくなりすぎる前に連絡をください。

10. 暖房

このハウスの暖房は、ビル全体のセントラルヒーティングシステム（全館暖房）によるものです。常にメンテナンスがなされており、これまでの経験上大きな故障は滅多に無く、弊社の他のハウスに比べて暖房への信頼性は高いものがあります。また、稼働開始日や終了日、稼働時間帯や温度の管理もビルの管理会社によって行われていますが、高齢者や乳幼児も居る全ての入居世帯の事情をカバーする都合上、それらの設定やメンテナンス等は十分過ぎるものとなっています。

- 室温の調整は、基本的には、ドアや窓の開閉によってお願いします。理論的には各ラジエターの温度調節ダイヤルでも調節を行えるのですが、お湯を回しているという機構上、瞬間的に室温を変化させられません。そして何より、ライムスケールを含む水の特性上、古い硬化しているダイヤルを無理に回すと水漏れが起こることが多いです。

- 暖房稼働中は、ラジエターはとても熱くなりますのでご注意ください。中はお湯が回っているだけですので物が燃えたりまではしませんが、ラジエターにバスマット等のゴム面を掛けておくと溶けてしまうことがありますので注意してください。

- 全館暖房室ステムにつき、稼働開始や終了のタイミング、時間帯や温度設定などは弊社のコントロールの範ちゅうではありません。また大きな設備ゆえに、ひとたび故障が起こると復旧に時間が掛かることもありますが、こちらも弊社の管理の及ぶところではありません。特に故障の際は、我々にできる対応は迅速に致しますのでご協力をお願いします。

- 暖房とは反対のことですが、イギリスの住宅にはほぼ冷房設備は無く、このハウスも同じです。扇風機は何台か置いていますが、ハウスは高層階ですので、どうしても熱い時は、Room2 と Room3 の滞在者で打ち合わせて両方のお部屋の扉と窓を開けると一気に風が吹き抜けます。イギリスもここ最近は毎年数回 Heat wave が訪れる週が有ってその際はとても暑いことになりますが、日本と違って湿度が有りませんし、そうこうしているうちに直ぐに秋になっていきます。

11. 節約

お聞き及びのことと思いますが英国の物価が高騰しています。特に電気・ガス料金は過去数年で 2，3 倍というひどいものゆえ、光熱費の節約をお願いします。また、ゴミ袋、洗剤などの補充消耗品の節約にもご協力下さい。現在の家賃は想定したコストを前提に設定されていますので、想定以上の Bill の発生は家賃設定に跳ね返ることになります。必要なものは使わなければなりませんが、ご自身で光熱費を払っているならば、消耗品を購入しているならば、という意識をもってご対応いただければ相応しい程度の使用になるものと思います。

- 光熱費を節約してください。廊下の電気は、夜間は常灯で構いませんが、昼間は消灯してください。誰かが行うだろうではなくて各自が留意してください。洗濯の際の乾燥機は、夏季は基本的に使用せず、冬季は洗濯物の乾燥補助程度にお使いください。

- 補充品は適切に消費してください。ゴミ袋などは皆様が思っている以上に高額です。食器値用洗剤、掃除用洗剤類も適切な量の使い方をして下さい。なお、雑巾は使い捨てでは有りません。使用後はしっかり洗って干してください（洗ったバケツの汚水はトイレへ)。もし雑巾に相応しい余ったタオルなどをお持ちの場合、はさみで切って補充頂けたらと思います。

12. 消耗品、日用品.

ハウスの滞在環境は、全てご自分で生活をするフラットシェアのような感じです。生活に必要な設備や備品を一通り備え、良い状態を保つように管理をしております。一方で、生活に必要な消耗品は基本的にご自身でご用意いただくことになります。

短期滞在の方もおられますし、掃除を行う意思をサポートする目的で、ある程度の共用的な消耗品を補充するようにしています。切らしてしまうこともありますが、その際は、もともとは個人で用意するものとしてご調達いただきました上で、メールで報告下されば次に伺う際に補充するようにします。

- 補充するようにしている消耗品・日用品・・・掃除用洗剤類、掃除用具等のメンテナンス用品、ゴミ袋、食器用洗剤、ラップ類、電球、電池、コーヒー・紅茶等。

- 絶対的に各自でご用意いただく消耗品・日用品・・・食材、調味料、洗濯用洗剤、トイレットペーパー、シャンプー・リンス類、タオル類等。

上階のキッチンの共有棚にある退出者が提供してくれた消耗品は、自己責任の下でご自由にお使い頂いて構いません。ただし、使うだけではなく、不要物は破棄するなど日ごろから棚の清潔に心掛け、必要なコミュニケーションを持ちながら衛生的な状況を保ってください。居住していない管理人が廃棄の判断をしたり、衛生的に保ったりすることは困難で、収拾がつかない場合は共有棚を廃止することになります。

13. 住所、郵便物

滞在先の住所は予約交渉時にタイミングを見計ってお伝えします。通常は予約手続き完了のメールに、住所の取り扱いに関する注意事項とともに記載します。滞在者の安全やご近所への迷惑防止のため、住所の取り扱いにはご留意をお願いします。

皆様の郵便物には関知致しません。こちらの郵便事情においては個々のケースにそれなりに正対する必要が有ります。ハウスには管理人も居りませんし、様々な不確定な事情に対して関与することは出来ませんので、ご自身においてご対応ください。

- 管理人のいないハウスへの突然の訪問を避けるため、滞在中の皆さまの安全やご近所さんへの迷惑防止のため、住所表示には日ごろより気を使っております。ゆえに HP 内には記載しておらず、滞在中の方、契約段階においてはお支払いを頂いた後など滞在が確実になった方へのみお伝えしております。お取り扱いにはご留意をお願いします。

- ご退出後にダイレクトメール等が届き続けることの無いよう、弊社の住所を使ってのショップ等への会員登録はご勘弁ください。本人ではないので止めることもできずに困っています。また、連絡先として弊社の代表電話番号を登録することもご勘弁ください。旅行会社からの緊急連絡などもあって困っています。入国カードへはこの住所をご記入くださって構いませんが、弊社は何ら関与できません。

- 滞在者の郵便物には関知しませんので利用の際の対応はご自身で行ってください。特に滞在期間以外に届くことのないようにご配慮ください。基本的に保管や廻送はできません。滞在期間内であっても、ご近所さんが代行して受け取らなければならないような事態はお避け下さい。なお、受領サインの必要な宅配便が届いても、その方に頼まれている等でない限りはサインをして受領してはいけません。

- 郵便物のあて名は、ご自身のお名前とこの住所のみで OK です。我々の都合でつけているハウスの名前（スイスコテージハウス）やお部屋番号（Room1 や Room2）は郵便には関係ないものですので記載しないようにしてください。デリバリーが他のフラットと間違えてしまう可能性が有ります。

- 荷物の受け取りですが、小さな郵便物はフラット玄関のレターBox から投げ込まれます。投函されている郵便物は、階段下の靴箱の上に置いて下さい。滞在中の方宛てのものは知らせてあげてください。明らかなジャンクメールは処分してくださると助かりますが、よく分からないものは無雑作に破棄せずに残しておいてください。スタッフが伺った際に整理いたします。

- 全てのお部屋の滞在者が長期滞在の場合、スタッフが伺う機会が減って光熱費の請求書や至急の対応を要する letter をタイムリーに受け取れない可能性が生じます。そうした期間は住人の皆さまに letter の廻送をしていただくことが有ります。光熱費や住民税などは弊社が皆様に代わって手続きをしているとも言えますので能動的なご協力をお願いします。廻送先の住所や方法はその際に確認しますが、届いた封書の宛名に×をして横に廻送先を記し、そのまま駅前の Post Box に投函するだけです。

- Amazon などの配達の際は、配達人はビルのエントランスからドアフォンを鳴らしてくると思いますので、階段下のインターコムを使ってまず相手を確認して下さい。招き入れる場合は、インターコム上のボタンを押せば、遠隔操作でビルのエントランスの扉が開きます。配達人がエレベーターを使って我々のハウスドアの前まで来てくれるはずですので対応して下さい。なお、相手が想定外の場合は、”Sorry”と言って切ってください。意味なく開錠してはビルのセキュリティーが成り立ちません。

14. 門限、消灯

弊社のハウスは学生寮ではなくて大人の皆さまがそれぞれの生活をされるフラットシェアです。従ってハウスのルールとしての門限や消灯時間などの設定はしていません。ただしそれは、大人の皆さまが他の滞在者やご近所さまに配慮した良識的な行動をして頂くことが前提になっています。

- 英国社会の通念に倣い、平日は 22 時以降、週末は、24 時以降は静かにすることとし、例えこの時間前であっても、他の滞在者やご近所さまの事を考えて良識的に行動してください。

15. 喫煙

イギリスでは禁煙法により、完全な自己の住宅以外の建物内での喫煙は全面的に禁じられており、スイスコテージハウスの入るマンション内全ての場所が禁煙です。

- Room1、Room2 はバルコニーでの喫煙は可能ですが、窓や扉から煙が中に流れ込むことの無いよう、また隣の家のバルコニーへの流れへもご配慮ください。

- 吸殻をポイ捨てしないことは当然ですが、臭くなりますので家の中のゴミ箱には直接捨てず、滞在中は水を入れたペットボトルを置いて置き、退去時に廃棄するなどして対応して下さい。

- 正面玄関の外での喫煙は極力お控えください。法律的には違反ではありませんが、日頃より迷惑をかけている上ではなるべく悪い印象を与えたくなく、家を離れてからお願いします。

16. その他

- 外出時は忘れずに鍵をご持参ください。ビルのエントランス、ハウス玄関のドアはオートロックキーなので入れなくなってしまいます。特にゴミ出しなどうっかりし易いので気をつけて下さい。一方、各お部屋はオートロックではありませんので、家の中で鍵を持ち歩く必要はありません。

- ハウスはマンション内の一つのフラットですが、エレベーターホールからの廊下に各フラットのドアが並んでおり、家を間違え易い環境にあります。旅行の方などは遅い時間の帰宅も多いと思われ、決して間違わないようにしてください。過去に大きな問題になったことが有ります。

- ハウス玄関ドアには段差があります。上階への階段や靴箱は木製です。スーツケースをしっかり持ち上げて、階段、壁、損傷させないようにご注意ください。

- ハウス内は土足禁止です。階段の下方に Room1 専用、上方に Room2、Room3 共用の靴箱がありますので、備え付けのスリッパ（もしくはご持参のスリッパ）に履き替えてください。なお、玄関通路及び階段は外履きと内履きの共用部分になりますので、日頃より濡れ拭き掃除を心掛けてください。

- 滞在中はときどき窓を開けて換気をしてください。特に冬季は、窓も部屋の戸も閉め切りがちです。暖房が効き、締め切った空間の中で洗濯物を干す状況はカビを増長させています。洗濯物を干していなくても、湿気を感じた際は除湿器を稼働させてください。

- 設備や備品のチェック、修繕、交換などの目的で、連絡なしにお部屋に入室させていただくことがあります。弊社のシステムにおいては普通のホテルのように毎日スタッフが自由に出入りすることはなく、滞在中は基本的に入室致しません。ただ、常駐管理人が居ない中で物事を効率よく進行させるために、時に緊急入室が必要になる場合がございます。入室する者は、弊社スタッフ、もしくはスタッフ立ち会いのもとでの第三者（業者等）に限られますし、消防検査など事前にわかっている場合は予めお伝えいたします。

- 滞在者同士で助け合って生活をしていただいておりますが、長期の滞在者に頼りすぎて、管理人的な負担を強いてしまう事のないようにご配慮ください。ただし、一方で長い方がハウス管理の雰囲気を作っていることも確かですので、新しい方の模範となるような行動をお願いします。

- 滞在者間のトラブルには関与しません（共有が玄関だけで、防音効果も高い構造においては Room1 の滞在者にはあまり関係ないことですが)。憶測や（客観性を唄った）主観を前提とした苦情や注意蜂起のご依頼はご勘弁いただきまして、日本で物件を借りていたらそれは大家に言うことなのかを考え、大人である当人同士で話し合ってご解決いただくようお願いします。ただし、客観的事実に基づいた滞在ルール違反（器物破損や部外者の招き入れなど）が明らかな場合はその限りではありませんのでご連絡ください。

- 予期せぬ来訪者に対しては、目的がどう見ても明らかな場合以外は、要求に答えたり対応したりしなくて構いません。安易に我々の連絡先を渡すこともお控え頂き、対応が必要そうに思われる場合は、連絡先を聞いてメールでご連絡ください。緊急な対応が必要な事情の場合は電話連絡をお願いします。

17. ルール違反

皆様がルールを守ってご滞在いただく限りは、私どもは基本的に干渉致しません。皆様のロンドンのお家としてご自由にご滞在いただけたらと思います。

反対に、迷惑行為やルール違反が明確な場合はまず注意をさせていただき、その後も改善が見られない場合は退室を勧告することになります。その際は残りの期間分の返金も有りません。なお、ルール違反の注意や退室の勧告は皆様の主観ではなく、私どもの長年の経験に基づいて客観的な判断において行います。

18. 質問、連絡

前提として、全てご自身で生活されることを心掛けてください。ハウスの利用方法やシステム、周辺につきましては備え付けのインフォメーション、そして HP の料金表や Q&A をご確認ください。

- ハウスの設備についての報告や、延長・送迎依頼などのご契約に関するご連絡はメールでお願いします。メール担当者より、基本的に 24 時間以内にご返信申し上げます。

- 至急の対応が必要そうな故障やトラブル等、事情のある場合はお電話くださって結構です。ただし、非常事態以外は 10 時～19 時の時間内にお願いします。出られない場合はメッセージをお残しくだされば気づき次第折り返します。（勧誘電話なども多いので、メッセージが無い場合は掛け返しません）

- 余談を許さない緊急事態の場合は、弊社の指示を待つことなく、大人としての判断と行動をして下さい。英国の緊急電話は、警察、消防、救急車ともに 999 です。英語が良く分からなくても、事態を伝える単語と、住所を繰り返せば通じるはずです。

  - メール連絡先・・・info@londonapplehouse.com
  - 代表連絡番号・・・+44(0)7900-457-222
  - その他連絡先・・・契約交渉時のメールに記載されている各スタッフの連絡先
  - 警察、消防、救急車・・・999
  - 急病の相談（NHS）・・・111
  - ガス漏れの疑い・・・0800－111－999